

**「親子で朝日新聞を読みたくなる」
プロモーションアイデア**

応募者ID : 8E1F935ED3①

《ミッション》

親子で朝日新聞を読んでもらう

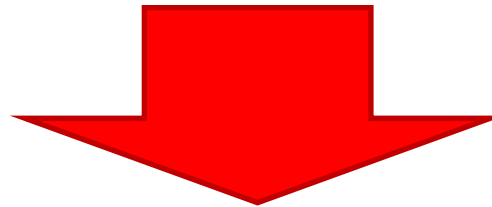


【大前提】

親子で新聞を楽しんでもらうには
「朝日新聞そのもの」で楽しんでもらう必要がある
(実際に紙に触れ、文字を読む)

■子どもが新聞を敬遠する理由

《ターゲット》
新聞エントリー層である小学生とその親 を想定



《小学生が新聞を敬遠する理由》

文字が多い

どこから読んでいいのかわからない

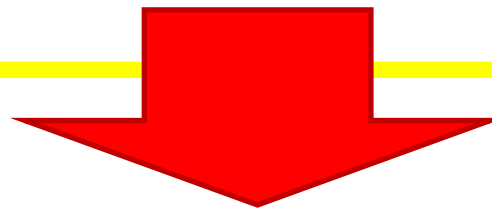
なんか難しそう（楽しくなさそう）

《しかし、それこそが新聞の魅力》

文字が多い = 情報量が多い

どこから読んでいいの? = どこから読んでも自由

なんか難しそう = 詳しく書いてある



上記の特長を紙面を通して
ポジティブに体感してもらうことがポイント

輸入等を引
にプラスに
率に〇・四
七・七九月
十八億四千
百五億、働
いるのは七
千三百、近
収支の黒字
の配当がこ
ごの特務要

因によるもの「と」のものが株企
行の分析だ。「と」して「と」か
ら、貿易黒字の減少基調に変わ
りはなく、十月以降は外需は再
びマイナスになると見ている。
今回、成長率が大きくなくなった
のは、今年一―三月以降、再
び外国人に停る不同「と」動きが
出たため、「と」は「と」の
説明。今年四月―三月の
半年間を取ると、四月―三月
に対する実質増減は「と」。

六分(年率だと三・二%)にな
る。また、七―九月の前半同前
に対する伸び率は五・一%で、
「実際の成長率は、その中間点
当たりであるのではないか」
(星野雄偉理事)と見ている。
が、株企行の分析は「と」
。株企行は同様に「と」年度の
実質成長率は「と」までの五・
二分から五・二分に落ちた八八
年度分を五・二分に修正した。
へ、それぞれ「と」修正した。

比全土に非

【マニラ六日】清田、宇佐波
特派員「フィリピン国連の一部
将兵による反乱事件で、政府と
反乱軍側の決着に向けた交渉が
六日、断絶的に続く中で、マニ
ラ大統領は同日午
時間同五時)すぎ
金融・財政の中核
区)を引き続き占
経済活動に深刻な

費負担増

院は患者負担増

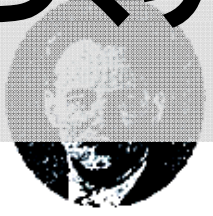
社会に即え
格的改革を
目的には、公
めることも

に、老人医療が
ることを重視
いては老人医療
どのパランを



考えを示し、
担を増やす
外資、短期入
の恩恵

ゲルラッ



ゲルラッハ
東独白民党首

【東ベルリン
き】東独のケリン
議長は六日、回
首と国防評議会
た。従来この二つ
会主義統一党書記

あす社会主
統一党大

日本政治の
花は「最も
全保健案精
力の多くを
、それに好
を建設建設
と政治腐敗

った。それだ
去って、自民
とをまな分
時を迫られよ
常内では「ソ
で歴史が動く
た。日本の強

和解に動い、シ
クの再現で
の流れから取
ならないだ
部)など「ソ
めている。日
立派を築き、

「と」への危機感からだ。「果
外交の展開に急務となつて
「三選案」理事会との認
、白民党幹部に共通したも
「と」からだ。

い潮流に積極的に
くへきたとの声が
推名、加藤氏の
ア、とりわけ極
ソ連の強大な軍
柄し、その出方
ていくへきた

迫られる外交転換

たくさんの文字で埋まった紙面...
↓
親子で楽しめるような「きっかけ」を
紙面につくります

笑ふ。ソ連
的な国にな
ていく。先
国を有する
西国の側も
済の水準が
が経済で競
好しい。
本は全地球
治哲学を持
を生かして



立ち止まら
あるだろう
東欧の民
で、日本に
米國などが
を期待され
助」という考
体として民
が日本を覆
定にプラス
ら協力すべ
ソ連への経

冷静対応必要
推名 素夫氏

ける善い状態の時
結した。両首脳は
お互いの責任を精
いところ心がけ
ただ、世界各地
不安定な要素も
シアでは冷静的な
「緊張緩和」とい
なをもちつたから
くに銀座で推名
してしまおうべき

《朝日新聞が新聞のタブーを犯して全国の親子に挑む》



朝日「まちがしい新聞」

キャンペーン

間違い
みつけ

外交転換

東独議長代行

ゲルラッ

比全土に非

【マニラ六日】清田、半佐波
特派員「フィリピン国軍の一部
将兵による反乱事件で、政府と
反乱軍側の決着に向けた交渉が
六日、断続的に続く中で、マニ
ラ経済活動に深刻な

あす社会主
統一党大

ゲルラッハ
東独白民党首
議長は六日、回
首と国防評議会
た。従来この二つ
会主義統一党書記

緊張緩和話

冷静対応必要

推名 素夫氏

アジア地域

（衆院商工委員長、東

区、当選4回、

ア

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

朝日新聞紙上のどこかに潜んだ「間違い文字」を親子で力を合わせて見つけよう！

朝日「まちがい新聞」 キャンペーン概要

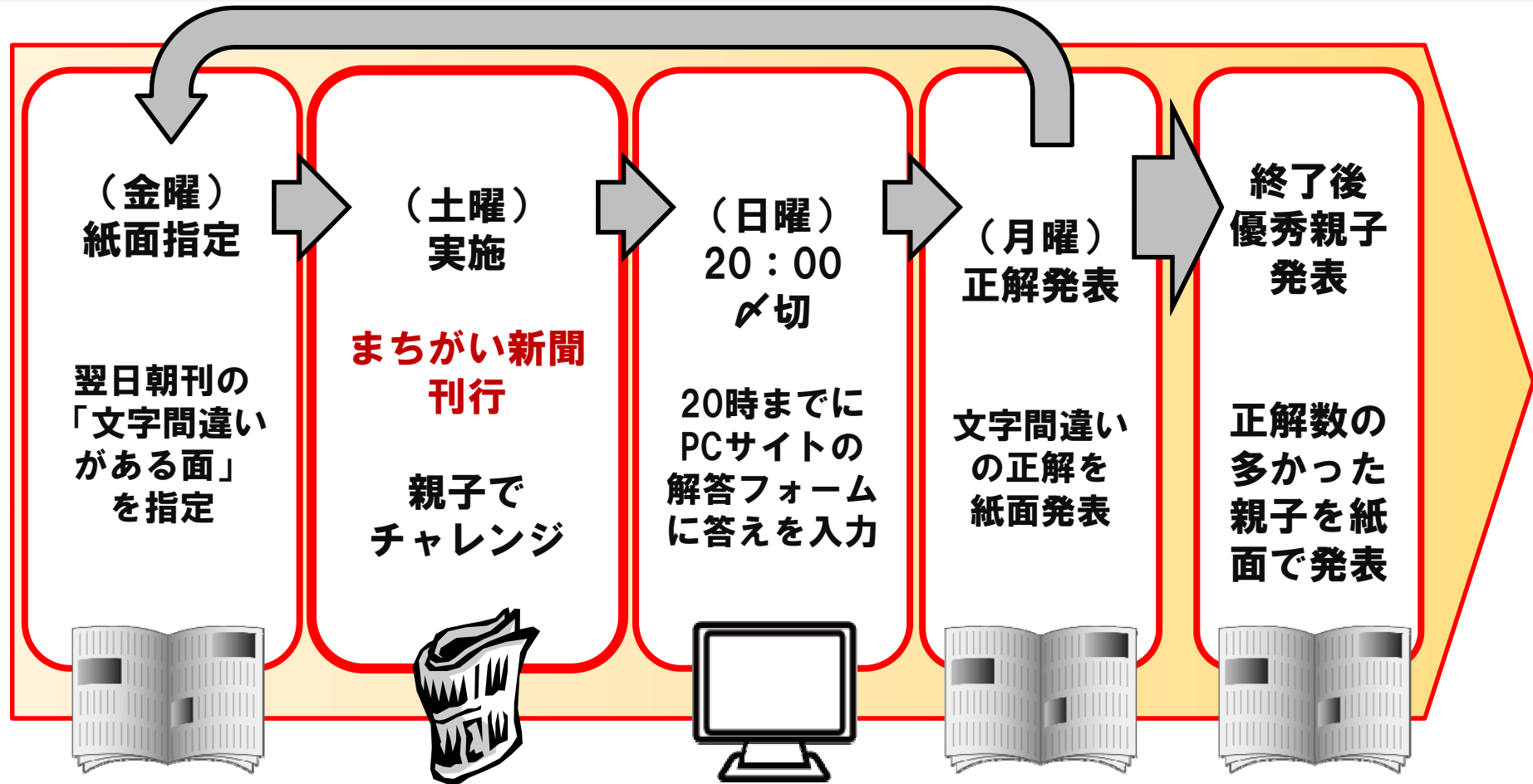
対象：小学生の子どもとその親

毎週土曜日、朝刊のどこかに
ひと文字だけある間違いを見つけていただきます
(どの面にあるかは前日に指定する)

参加する親子はキャンペーンサイトでIDを発行
親子で間違いを見つけ、期日内に
キャンペーンサイトの解答フォームに答えを登録

4月から9月までの半年間、毎週土曜日に実施し
見つけた間違いの数を全国の親子と競い合う

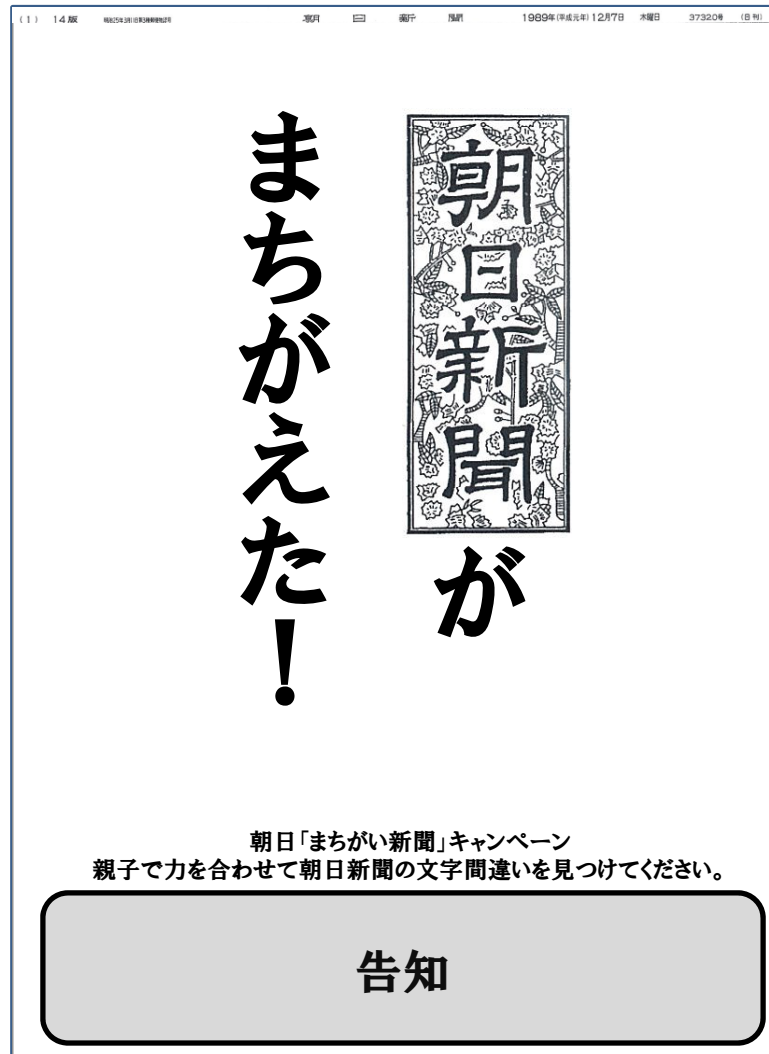
■全体フロー（1週間のサイクル）



- 上記のサイクルで4月から6カ月間実施 休日に親子でチャレンジできるよう「まちがい探し」の期日は日曜20時に設定
- いちばん多くの文字間違いを見つけた親子の中から抽選で1組に「1日親子編集長」として「自分の関心ごと」を朝日新聞で記事にできる権利を授与 また1回も欠かさず毎回解答をした親子にも皆勤賞を贈呈

■告知・キャンペーンサイトイメージ

●新聞告知



(1) 14版 朝日新聞 1999年(平成11年)12月7日 木曜日 373208 (B折)

まちがえた！

朝日新聞が

朝日「まちがい新聞」キャンペーン
親子で力を合わせて朝日新聞の文字間違いを見つけてください。

告知

●ウェブバナー告知



●キャンペーンサイト



A screenshot of the campaign website. The background is yellow. On the left, a box lists the campaign details: '●朝日「まちがい新聞」キャンペーンとは', '●ID登録', '●解答フォーム', and '●過去のまちがい'. On the right, the text 'まちがえた！' and '朝日新聞が' is displayed vertically. Below this, a green button says 'IDを登録' and another says '答えを登録'. At the bottom, it says '〈朝日新聞の文字まちがいを親子で見つけよう〉'.

- キャンペーンサイトを設け、キャンペーン説明／ID・解答登録フォームとして活用
- 間違いのある面の指定／答えの発表は紙面にて行う（過去の解答一覧はアーカイブとしてサイトに保存）

■このキャンペーンがもたらすもの



朝日「まちがい新聞」

子どもにとっては

新聞そのものを
舞台にした「遊び」

「記事」への興味喚起
につながる「きっかけ」に

大人にとっては

子どもといっしょに
取り組める「課題」

新聞を介した子どもとの
コミュニケーション増加

ご家庭に朝日新聞購読が定着する一助となれば幸いです